

刑 法

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は1枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒のボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限りません）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は60分です。
- VII 問題は1ページにあります。

刑 法

公園で遊んでいた A (5 歳) に付き添っていたその父 B (30 歳) は、持っていた財布を 3m 程離れた傍のベンチに置いていた。その様子を見ていた X は、B が A に気を取られている隙に財布を奪ってその場から立ち去ろうとした。B がふとベンチを見ると、自分の財布がなくなっており、X がそれを持って逃げようとしていることに気が付き、慌てて「泥棒!」と叫んで X を追いかけた。X が財布を持って逃げている途中で、X の知人 Y が偶然通りかり、X は Y を見るなり「助けてくれ」と叫んだ。Y は、B に「泥棒」と追いかけている X の状況を見て、咄嗟に「手癖の悪い X があの人の財布を盗んだのだな、助けてやろう」と察知して走り出し、B の腕を掴んで顔を殴り、また更に X も B の顔面を殴打して、B がひるんだ隙に X、Y は一緒に逃走した。500m ほど離れた場所まで来ると、X は Y に「さっきは助かった」と礼を言いながら B の財布の中にあった 1 万円を渡した。

X および Y の罪責を論じなさい (特別法違反の点を除く)。

以 上